

# 成長は無量大山

## 中学校生活のしめくくりを!



県立川島中学校での生活もあと10日ほどになりました。教室で学級の仲間と過ごす当たり前の時間も一日一日と過ぎていきます。残りわずかな中学校生活、仲間との関わりを最後まで大切にしてほしいと思います。そして、3月11日をすばらしい旅立ちの日とできるように過ごしましょう。

### 自分の力を他者のために

3年間、みなさんの成長を間近で見ることができたことは私の喜びです。みなさんは自分のやさしさやもっている力を、友だちのために自然に使っていました。

例えば、

- トイレのすりっぱが誰かによってそろえられていました。
  - 廊下の日めくりカレンダーが誰かによってずっとめくられてきました。
  - 「ありがとう」や「おかげで」など感謝を表す言葉を日常よく発していました。
  - 先に検定に合格した人たちが、友だちの合格のために先生役になって特訓していました。
  - 自分の係でなくても、休んでいる人の当番をいつも引き受けてやっていました。
  - 配布されたプリント類を机上にそのままにせず、学級の誰かが机の中に入れていました。
- 周りに心を配り、自分の力を人のために使うことは、自分も人もしあわせにするとと思います。

### 川島高校 藤本先生のお話

2月20日、川島高校進路課長の藤本先生が、進路決定に向けて高校生活で意識すべきことや勉強の仕方等についてお話してくださいました。今、どうすべきか、また高校に入ってどのように日々を過ごすことが自己実現につながっていくかを具体的に教えていただきました。

授業の最後に、平島裕史さんが、「学ぶことの意味や、楽な道を選ばずに日々コツコツしていくことの大切さがわかりました。これからの人生にも、楽な道とそうでない道があった時、今日の話思い出して自分が成長できる方の道を選びたいです。」とお礼の言葉を述べました。



## 未来の自分を語る

3年生の総合学習では、よりよい社会の実現に向けて、社会が抱える課題に対して自分はどのように関わっていくかについて考えてきました。3学期はこれまでの学習を生かして、「未来の自分を語る」ことをゴールとして取り組んできました。

自分の得意や強みを生かして、どのような社会で生きたいか、また今の社会がどのようなになったらよいかについてプレゼンを行いました。パワーポイントのデザイナー機能を活用し、各自4枚のスライドを作成しました。

1年間のゴールを見据えた探究活動により、生徒は知的好奇心が喚起され、思考を深め、主体的かつ協働的に学ぶことができたようです。

感想の一部を紹介します。



[スクリーンの文：悩みがある子どもたちを助ける]

★私はよく自分の未来について考えることがあるので、自分の今の思いや将来について、改めて考えることができた時間だったと思う。どんな社会で暮らしたいか、たとえそれが私利私欲であってもその社会の実現に貢献していたら、こんな社会がいいなあと考えたりすることが楽しかった。他の人の発表もみんな自分のことについてしっかりと考えていてすごいと思った。また友だちの考えを知るきっかけにもなったのでとてもよかった。少し難しい内容だったけど、これからはこんなことも考えていかないといけないんだなあと思改めて思った。

★自分の未来について考える授業は昔からあったけど、どれも職業について調べることが多かった。でも今回は違ったので発表はおもしろかった。まだ決めることができない職業を考えることより、どんな未来で暮らしたいかを考える方が、今までよりもさまざまなことを思いつくことができた。

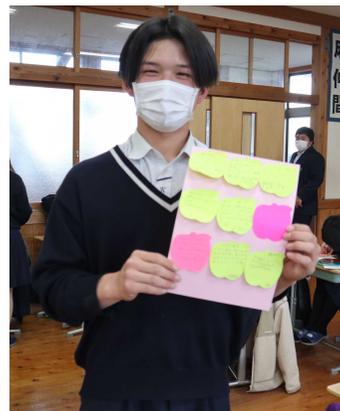
発表を聞いていると、みんな自分の生きる未来に希望や願いがあることがわかった。どれも共感できる部分があったし、実際にそんな未来で生きたいと思った。意見の中には、現状を踏まえて考えているものもあれば、「楽しそう、うれしい」など、自分や相手の感情を考えているものもあり、その人の性格とかも出ると思った。技術が進んでいる社会なので、夢が現実になるものも多いと思う。私はそれが楽しみだし、できていく過程が知れるのもいいと思う。空を飛ぶ車、人が運転しなくても走る車、事故を起こさない車など、車だけでもたくさん夢が詰まっていて、それを選ぶことができる未来はワクワクする。

★これが中学校の総合学習の最後だと思うと寂しく感じる。同時に、3年間の総合学習で、たくさんのことを考えたり、発表してきたりしたことを改めて思い返した。1年では、あわ文化、2年では職場体験出前授業、識字学級、沖縄調べ、3年では平和学習、社会課題や自分の未来について。これらのほとんどは誰かと協力し合って完成させたものであることにとっても感謝している。

## 担任の先生からの褒め言葉

毎年、担任の先生からのほめ言葉が教室に掲示されていました。それを読んできた生徒のみなさんの感想を紹介します。

- ★自分では「紳士な人間」とは思ったことがないけど、そう書いてくれて自信がついた。
- ★みんなの個性や得意がわかり、とてもいい一枚の紙になっている。一カ所にまとめて掲示しているので、いっぺんにみんなのよいところを知れ、とてもよい空間になっている。先生みんなに対する気持ちがとてもやさしく、先生特有の言葉で書いていて、気持ちが伝わってくるので、書いてもらってとてもうれしかった。
- ★I was glad because I was praised by my homeroom teacher. His existence is very important to us. 普段一緒にいる時間は多くないけど、生徒のことをよく見ているなあと思った。
- ★一人ひとりにあった四字熟語で、なぜそう思うかも毎回丁寧に書いてくれている。時々おもしろい文章を書いているので、みんなで笑いながら見ている。自分の知らないよいところを書いてくれているので新しい自分を発見するきっかけにもなっている。
- ★先生がほめてくれたことをもっと伸ばしてがんばりたい。よく見てくれて心が温くなる。
- ★クリエイティブで「創る人」として見てくれた。タイトルや賞の名前が英語でおしゃれだ。気がつかないうちにどんどん掲示がたまっていて、友だちのを読むのが楽しかった。
- ★一人ひとりの性格や行動に合った言葉をくれている。直接ほめるのではなく、例えを使ったり、英語だったりするのがいいなと思った。
- ★ほめてくださるだけでなく、もっと成長するようにアドバイスもくれる。
- ★自分が短所だと思っていたところを「自分らしさ」としてそのままいいんだよと言ってくれているようでうれしかった。一つひとつを認めて成長させようとしてくれているのが伝わってきた。
- ★深すぎてまだ正確に意味はわからないけど、気づくときがふっと来る気がする。ぴったりの言葉だから「わかってくれているんだな・・・」といつも感動。



## マイセルフ

入学時より毎年1冊「マイセルフ」を作ってきました。自分自身の成長ファイルであり、自己肯定感を高めるために行ってきました。3年生では家庭科でお世話になっている高校の見立先生にご協力いただき、「マイセルフ」にカバーをつけました。オリジナリティーのある自分だけの成長ファイルになったのではないのでしょうか。「マイセルフ」についての感想を紹介します。

【3冊のマイセルフは自分にとって何だったか】

- 私にとっては勇気をもらえるものだ。これまでマイセルフには楽しかったことやうれしかったことを入れてきた。それを見るたびに、「自分はこんなことができるんだ」と勇気をもらうことができるのだ。一つひとつの出来事は、自分一人でがんばったものもあれば、班でのプレゼンなど仲間といっしょにがんばったこともあり、忘れることができない思い出が詰まっている。
- 私にとってマイセルフは自信をつけてくれる宝物だ。マイセルフを開くと、友だちからもらったほめことばシャワーや、セミナーテスト優秀賞の賞状などが入っている。それらを見ると、自分にもたくさんのいいところや得意なことがあることに気づき、自信につながる。また、マイセルフは自分の好きなものや楽しい思い出などがたくさん詰まっているので、見ていて自然と笑顔になることができる。



## 保護者のみなさまへ

三年間にわたり、中学校でのお子さまの成長を少しでもお伝えできればと発行してまいりました学年通信「成長は無限大」も最終号となりました。みなさまにはいつもお読みいただき、ありがとうございました。また、いたらない点多々あったかと思いますが、ご協力いただき心より感謝しております。

四十二名の今後の活躍を祈りつつ学年通信「成長は無限大」を終えたいと思います。ありがとうございました。

三年職員 板東照美・林 義真・笠井大輔・片岡弘己

♡ロスフラワーのカーネーション。1ヶ月経っても美しく咲いていました。

